



小5 ロシアへ行く



(神戸市兵庫区在住)

私は、この夏ロシアに行ってきました。7月24日に日本を出発して、次の7月25日に受け入れてくれたホストのVIORETTA(バイオレッタ14才)が私が泊まっていたホテルに来てくれました。「ズッラーストビーチェ(こんにちは)」と言ったら、にこにこってしてくれてホッとしました。

そして、とうとうロシアの家に行くことに……。すごく緊張してスーツケースのとなりでドキドキしていました。生まれて初めての一人旅。

私がロシアへ行こうと思ったのは、母が去年VIORETTAの家でホームステイをして来た時の話を聞いたり写真を見たりして、面白そうだなーと思ったし、VIORETTAは綺麗で優しいので、会いたいなあと考えたからです。

日本の道はまっすぐで走りやすい。でもロシアの道はガタゴトまるで山道を登っていくみたい。ボタン。運転してくれたアルカーシャって男の人が、なんと15kgもある私のスーツケースを片手で5階まで持って行ってくれた。アルカーシャに「スパシーバ~(ありがとう)」と言ったら、「バジャールスタ(どういたしまして)」と言って帰っていった。

家に入ったら、ボルシチ(ロシアで有名な食べ物)があった。『食べたいなあ』と思っていたら、まずは家の説明が先だった。「ここがトイレ&シャワー」「ここがあなたの部屋です」とVIORETTAは教えてくれた。

居間に、とても身体の大きなおばあちゃんがいたので、あわてて自己紹介をした。「ミヤザブ オーチンプリアートナー」そうしたら、おばあちゃんは「イッポンスキー ニブニマーヨ。パルスキーダー」と言った。何を言われているのか解らなかった。私の言ったことがちゃんと聞こえなかったのかな? 解らなかったのかな? と思い、もう一度「ミヤザブ オーチンプリアートナー」と言った。でもやっぱり、おばあちゃんは同じことを繰り返して言ってきた。解らないのでそのままにして部屋を出た。でも、何日かしてあの時おばあちゃんは、「私は日本語は話せないの。ロシア語だけなの。」って言うていたんだなーって解った。

そして、ボルシチを食べる時が来た。ママが大きなお皿にボルシチを入れて持って来てくれた。やったー。「マーマチカ スパシーバー(お母さんありがとう)」と言って食べた。すごく美味しかった。

ボルシチを食べたら、バスに乗って町へ行った。神戸のハーバーランドっぽい風景だ。まずは水族館に行った。英語と日本語とロシア語で解説の文字が書いてあった。でも、ほとんど生きた魚はいなくて、はく製ばかり。

でも、すごくドキドキした。すれ違う人が、みんな金髪かっこいいー
ちいちゃい子までロシア語ですごーい！！！！

お土産コーナーで、VIORETTAがお店の人にズラーストビーって感じで話しかけていた。私がいつも日本のファミリーで聞いていたズラーストビーチェとズラーストビーは同じなのかな？) と思った。そこで、ペンとカードを買ってもらった。

町を歩いていて、もう一つびっくりした事がある。それは、トイレの所に、お金をとる人がいた。

日本ではそんなのありえないー。また、バスに乗り家に帰った。

家には大きな犬がいた。毎日朝と夕方にVIORETTAは犬の散歩に行く。初日、私もVIORETTAについていった。外は薄暗くなっていた。時計を見ると夜の11時。なのにまだ、公園では子供が遊んでいる。びっくりー。私は5時までで遊ぶ時間は終わりののに・・・。

家の中には日本のものが沢山あった。

- ・丸大豆しょうゆ
- ・『あなたの髪の毛の潤いを補います』って書いてあるリンス
- ・(日本語の文字が書いてある)ねこの餌
- ・アサヒビール
- ・メントス
- ・車はトヨタ(説明書は日本語)

ロシアでは、いっぱいびっくりすることがあった。
次回は、『ウスリースクに行く』の巻です。
お楽しみに～。

